

浮金小だより



発行：平成30年7月20日（金）

文責：浮金小学校長 松崎 健一

1学期は、入学式で6名の1年生を迎え、運動会、高柴山遠足、5・6年生の宿泊活動など大きな行事がありました。本校の特色である縦割り班活動が存分に生かされ充実した活動ができました。また、地域に出向いて学習もしました。訪問に際しては快く受け入れていただき、子どもたちの質問にも丁寧に応えていただきありがとうございました。それから、今年度から4つの小学校が学年ごとに集まり授業交流したり一緒に見学学習をしたりといった学習も取り入れました。小学校の統合に向けた取組ですが、少しずつ自分の殻を破り外へ外へと目を向けられるようにしたいと思います。このように大きな事故無く過ごせましたのも保護者・地域の皆様のご協力の賜と心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ明日から子どもたちが待ちに待っていた夏休みが始まります。みんなが元気に楽しく過ごせるよう学習・生活・安全について指導しましたが、ご家庭でも、配付されたプリントを基にお子さんにお話しくさるようお願いいたします。



見守り隊の皆さん ありがとうございます

7月19日（木）の給食の時間に、日頃からお世話になっている見守り隊の皆様をご招待し感謝の気持ちを伝えました。子どもたちの登校に合わせて毎日のように一緒に歩いて下さっていますが、継続することはなかなか大変なことです。お陰様で登校時の事故等はなく安全に子どもたちは通うことができています。本当にありがとうございます。



この日に合わせて見守り隊の方をご招待しました。



バイキング給食

給食センターの皆さん。いつも美味しい給食をありがとうございます。

当たり前のように上の学年の児童は手伝いをしました。一度には持たないスープの配膳をする子や1年生のサポートをする子がいました。

並べられたお料理は、彩りもきれいで、どれも美味しそう。子どもたちは大喜びでした。勿論、先生方も。今日だけはちょっと食べすぎかな？



給食試食会・授業参観・危険箇所点検を実施！！

7月6日（金）

給食試食会には29名の保護者の参加があり、子どもたちと一緒に給食を食べていただきました。いつもの給食とは違って多目的ホールにランチルームを設置して実施しました。給食はいかがでしたでしょうか。意外と薄味と感じた方が多かったようですが、毎日給食を食べている私は、決められた塩分量の中で旨味が感じられるよう工夫

されていることに感心しております。

アンケートの記述欄を読ませていただきました。お家で給食の話題が出ることなどがたくさん書かれています。



この手作りゼリー 美味しいね！

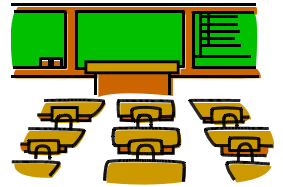
授業参観・学年懇談の後、PTAの危険箇所点検が行われました。これまで危険箇所としていた箇所の現状と表示の確認を進めながら、地震により倒壊しそうな壁等がないかという新たな視点をもって点検が行われました。新たな危険箇所も出てきましたので、本日配付しました「浮金地区危険箇所マップ」を見ながら、お子さんと一緒にご確認ください。PTA本部役員と補導厚生部の役員のみなさん、雨の中にも関わらず丁寧に点検していただきありがとうございました。



学校評価のご提出ありがとうございました

1学期の学校運営状況について保護者の皆様の評価をいただきました。現在、集計と考察をしているところですが、高い評価を得た項目もあれば、急ぎ改善が必要な項目もあります。記述欄のご意見も読ませていただきました。反省しなければならない貴重なご意見もありました。2学期末の学校評価ではポイントが上がるよう改善策を講じ努めていきます。

なお、今回の結果及び考察については、夏休み明けに文書で示したいと思っております。



小野町統合小学校の校名・校歌の募集案内について

本日、募集案内の文書を子どもたちに配りました。終業式の中で内容について子どもたちに説明しました。どんな小学校が小野町にふさわしいのか、思いを込めて応募してほしいと思います。応募期間中、昇降口に応募用紙回収ボックスを備え置きます。親子でそれぞれ応募することができますので、是非考えてみてください。



地域の皆さん、是非ご来校ください

第2号のお便りでもご案内しましたが、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業～巡回公演事業～」に応募し、**京都フィルハーモニー室内合奏団**が浮金小学校に来てコンサートを開くことになりました。総勢50名の本格的な演奏会となります。浮っ子たちとの共演もあり、校歌も演奏されます。地域の皆さんにも是非クラシックの名曲と子どもたちの演奏を聴いていただきたいと思っております。ご来校ください。



日時：9月7日（金） 13：30～15：00

会場：浮金小学校体育館

※ 当日は飯豊小学校と夏井第一小学校も一緒に鑑賞します。

校長室より

地域の方から子どもの挨拶のことで「元気に挨拶ができていない。」とお話をいただきました。また、先日17日の朝、社会を明るくする運動の一環で更生保護女性会あいさつ運動が校門前で行われました。町長様をはじめ、警察の方等9名が並び挨拶を交わしました。いつもと違う状況ではあったのですが、やはりここでもしっかりと挨拶ができない子どもが見られました。

学校では、子どもたちの挨拶ができていないとは考えていませんでした。「おはようございます」「さようなら」「こんにちは」「ありがとう」「よろしくお祈りします」と、機会を捉えてその場にあった挨拶の指導をし、よくできていると感じていました。ただし、全員が同じようによくできているかというところではありません。相手を見ずに下を向いたまま挨拶する子、言葉に明るさや元気よさが感じられない子、初めて会う来校したお客さんの前では声も出さず挨拶できない子など様々です。

挨拶は基本的な生活習慣の中でも大切な毎日の行動です。社会人となれば挨拶ができない人間は常識が無いととらえられ、信頼されず評価されません。また、挨拶はコミュニケーションの始まりで、挨拶をとおして自分の気持ちを表現し、あるときは相手を思いやることにもなります。

さて、「いつでも、どこでも、礼儀正しく、元気に挨拶ができる子ども」を、どうやって育てて

いくべきでしょうか。これは、やはり家庭・地域・学校のそれぞれの場で継続して教育すべきことです。家庭の中では、「おはようございます」「行ってきます」

「ただいま」「おやすみなさい」「いただきます」「ごちそうさま」などの挨拶が毎日交わされているはずですが、地域を歩いていけば「こんにちは」でしょうか。私が挨拶で意識しているのは、

- ① 先に挨拶をすること。
- ② 挨拶されたら必ず返すこと。
- ③ 気持ちが伝わる挨拶をすること。
- ④ これらを継続すること。

の4つです。とにかく返事が返ってくるかどうかは関係なく明るく挨拶しようとしています。そんな大人の姿を子どもたちに見せ続けることが大切だと考えるからです。

子どもの教育については、学校を含めた地域の大人が行動で示すことも大切です。子どもの挨拶ができていなければ、その場で「元気に挨拶しよう！おはようございます。」と、一緒に声を出して挨拶を教えるようにしてください。学校でも継続して挨拶の大切さを指導していきます。

